

令和元年度 富山県担い手育成ほ場整備研修会

富山県構造改革推進ほ場整備研究会(会長 定司俊憲 福野町土地改良区理事長)では、令和2年2月19日、パレブラン高志会館(富山市)において「令和元年度富山県担い手育成ほ場整備研修会」を富山県農村整備課との共催で開催し、県内の土地改良区・地区委員・営農組織・県関係者ら268名が参加されました。最初に定司会長の開会挨拶と、富山県富山農林振興センター石田所長から挨拶があり、その後研修に入りました。



研修内容は次のとおりです。

1. 維持管理低減のための基盤整備へ

富山県 農林水産部 富山農林振興センター 指導課

課長 松本 祥二 氏

今後の目指すべき農地整備の在り方についてハード・ソフト両面から、また、国営水橋地区や国の取組みを事例に、事業の推進や営農体系の確立に向け関係者との調整や連携など、あらゆる視点から最新の情報や知見を具体的に講演された。

2. 生き物を育む農の営み ～地域をより豊かにできる環境配慮の取り組みに向けて～

一般社団法人 地域環境資源センター 農村環境部

上席研究員 草光 紀子 氏

歴史を通じ人間の営みとそこに棲む生き物との関わりから始まり、環境に配慮した農村整備の在り方、そして次の世代へ繋いでいく取り組み方など、暮らしの中で育まれる自然環境や農村文化の継承などについて講演された。

3. 営農への新たなチャレンジ

有限会社 グリーンパワーなのはな

取締役水稻グループマネージャー 青木 貴志 氏

取締役総務・園芸事業グループマネージャー 金泉 和久 氏

大規模な農業経営における課題や対策、また国営水橋地区の整備も見越しながら高収益作物を含む園芸作物の導入や海外輸出の展開など、先進的な取組みや新たなチャレンジ事業などについて講演された。